

アジア大会2018 ジャカルタ男子マラソン 園田選手4位入賞

8月25日、アジア大会2018 ジャカルタ男子マラソンに当社所属の園田隼選手が日本代表として出場しました。当社陸上部からフルマラソン日本代表選手が選出されるのは初の快挙となります。

レースへ向けて順調に練習をこなしてきた園田選手は、メダルを目指してスタートしました。高温多湿の天候の下、各選手が牽制しあう展開の中、25km過ぎから積極的に集団を引っ張るも、37km過ぎで遅れ、最後は銅メダル争いを繰り広げましたが、4位でゴールとなりました。メダルこそ逃しましたが、初めての日本代表でのマラソンで準備期間からレース当日まで、日の丸の大きな重圧を感じながらも、堂々とレースを戦い抜き4位入賞出来たことは、次のステップへ繋がる大きな経験となりました。

園田選手は2019年9月に行われる、2020年東京オリンピックのマラソン日本代表選考レース「マラソングランドチャンピオンシップ」への参加資格を獲得しており、本番に向けて日々トレーニングを積んでいます。ジャカルタでの経験を活かし、日本代表を目指して頑張っていくので、みなさまの応援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



©Getsuriku

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.krosaki.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京（第一部）・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
照会先	☎0120-782-031 受付時間／土・日・祝日を除く 9:00～17:00 インターネットホームページURL https://www.smtb.jp/personal/agency/

■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問合せ先にご連絡ください。

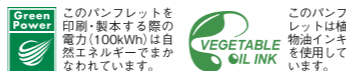
■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、日本証券代行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しています。

お問合せ先 **☎0120-707-843**
(受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く9:00～17:00)

黒崎播磨株式会社 (証券コード:5352)
〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号

URL.<http://www.krosaki.co.jp/>
TEL.093-622-7224
FAX.093-622-7200



株主のみなさまへ

第128期 第2四半期のご報告

2018年4月1日から2018年9月30日まで

ごあいさつ

代表取締役社長
伊倉 信彦



株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの当第2四半期の連結経営成績は、耐火物原料・調達品の価格上昇は続いたものの、海外グループ会社の売上増、ファーンレス事業・セラミックス事業の好調等により、売上・利益ともに過去最高となりました。いよいよ半年後に迫った創業100周年に向けて、以下の中期経営計画の施策を積極的に推進します。

- (1) 国内における高付加価値製品・サービスの供給、建設用案件の着実な受注、コークス炉向け新工法開発・高度化等の推進。海外における新興市場・成熟市場向けの最適な品種別拡販戦略の実行。
- (2) 設備投資の積極的推進、当社グループ内商流の簡素化、生産体制の最適化、耐火物製品の安価・安定供給体制を確立し、耐火物事業の収益力を抜本的に強化。
- (3) ファーンレス事業における、コークス炉・整備事業関連の業容拡大と、国内工業炉案件における材料・施工一体対応の強化や製鉄所における大型建造工事の継続受注による収益拡大。セラミックス事業における半導体業界の需要に応じたタイムリーな投資と海外拡販の継続、新規分野への販路拡大による事業拡大。

株主のみなさまにおかれましては、今後さらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

2018年
8月

八幡工場 新物流倉庫の建設

本年8月、当社八幡工場で新物流倉庫が竣工しました。前倉庫の老朽化に伴い建て替えたもので、物品をより安全に保管できるようになったことはもちろん、2階建て構造やレイアウトの最適化、用途別の搬入口の設置などの、様々な工夫により保管量の増加と搬出入作業の効率化が図られています。

当社八幡工場は耐火物・ファインセラミックスを合わせて多種多様な製品を製造しており、保管・運搬が必要な原料・製品・OEM品等も多岐に渡ります。新倉庫の稼働により八幡地区全体の物流業務を効率化し、生産性向上を図っていきます。



新物流倉庫外観



伊倉社長によるエレベーター起動の様子

売上高 **714.9** 億円

売上高

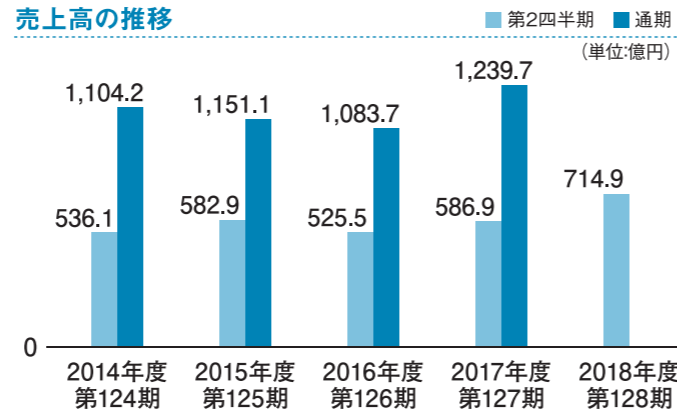
当社グループの主要得意先である鉄鋼業界の国内粗鋼生産量は、前期に比べ0.3%増の5221万トンとなりました。耐火物原料等価格上昇分の販売価格への転嫁を進めたことおよび海外子会社の売上増等により、売上高は、前期に比べ21.8%増収の714億97百万円となりました。

営業利益 **54.3** 億円
 経常利益 **57.6** 億円
 親会社株主に帰属する四半期純利益 **36.5** 億円

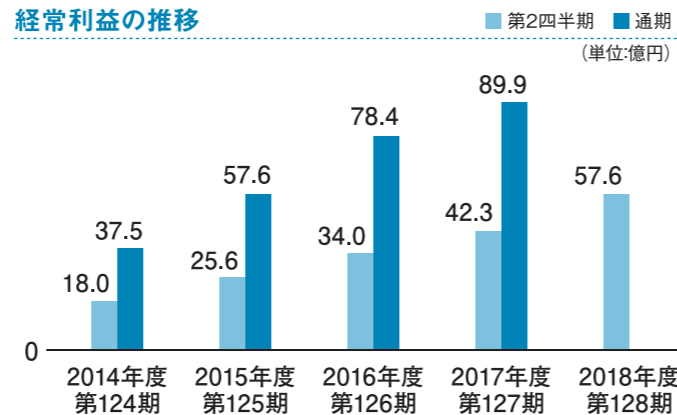
利益

売上高の増加およびコストダウンの進展等により、営業利益は、前期に比べ40.4%増益の54億37百万円、経常利益は、前期に比べ36.1%増益の57億68百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に比べ34.0%増益の36億54百万円となりました。

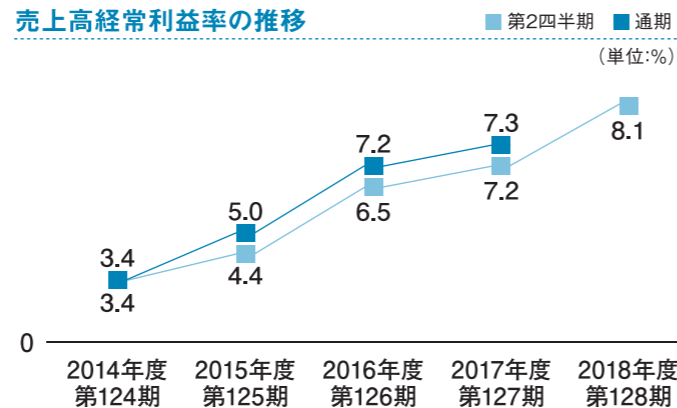
売上高の推移



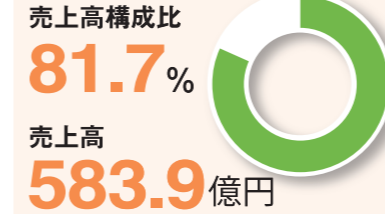
経常利益の推移



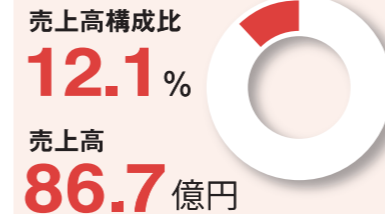
売上高経常利益率の推移



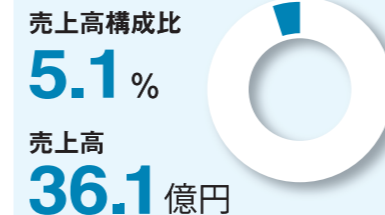
耐火物事業



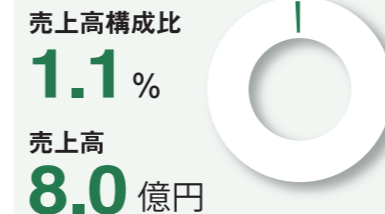
ファーンレス事業



セラミックス事業



不動産事業、その他の事業

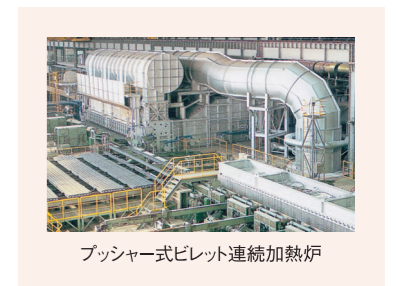


原料価格上昇分の価格への転嫁および海外子会社売上増により増収。売上高の増加およびコストダウンの進展により増益

原料等価格上昇分の販売価格への転嫁を進めたことや海外子会社の売上増加により、売上高は前期に比べ25.1%増収の583億96百万円となりました。売上高の増加およびコストダウンの進展等により、セグメント利益は、前期に比べ37.2%増益の33億41百万円となりました。

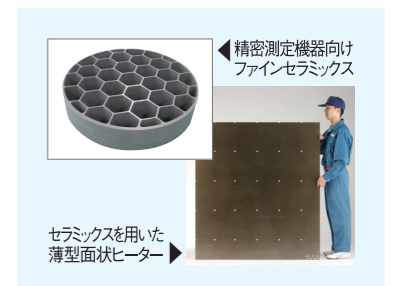
大型工事案件の受注増により増収増益

大型工事案件の受注増により、売上高は、前期に比べ14.1%増収の86億78百万円、セグメント利益は、前期に比べ138.0%増益の10億38百万円となりました。



主力ユーザーからの堅調な需要の継続により増収増益

主力ユーザーである半導体製造装置業界および電子部品業界からの需要が引き続き堅調であったことから、売上高は前期に比べ2.7%増収の36億16百万円、セグメント利益は、前期に比べ16.6%増益の6億18百万円となりました。



【不動産事業】

売上高は、前期に比べ1.3%減収の4億59百万円、セグメント利益は、前期に比べ2.2%減益の3億76百万円となりました。

【その他の事業(製鉄所向け石灰の製造販売)】

売上高は、前期に比べ15.9%減収の3億46百万円、セグメント損益は、0百万円のセグメント損失(前期は1百万円のセグメント利益)となりました。

